全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会【中学校 国語】

国立教育政策研究所
NIER National Institute for Educational Policy Research
教育課程研究センター
学力調査官・教育課程調査官
山内　裕介

本調査問題や調査結果の活用に当たって

調査結果から見えた自校の課題や
その課題を解決するためにはどのような取組が必要なのかを
学校全体で共有して、
組織的に学習指導の改善・充実が図られること
を期待しています

説明の概要

１．調査の概要
・令和８年度調査【中学校国語】における
調査問題の構成と調査結果

２．調査結果と学習指導の改善・充実について
・各設問における出題の趣旨と調査結果等

３．まとめ
・調査問題や調査結果を踏まえた中学校国語科の
授業づくり

１．調査の概要

・令和８年度調査【中学校国語】における
　調査問題の構成と調査結果

【中学校国語】の調査問題の構成

＊ ４つの大問、全体で15の設問から構成
国語１ 「知識及び技能」
国語２ 「Ａ話すこと・聞くこと」
国語３ 「Ｂ書くこと」
国語４ 「Ｃ読むこと」

選択式・・・９問
短答式・・・３問
記述式・・・３問

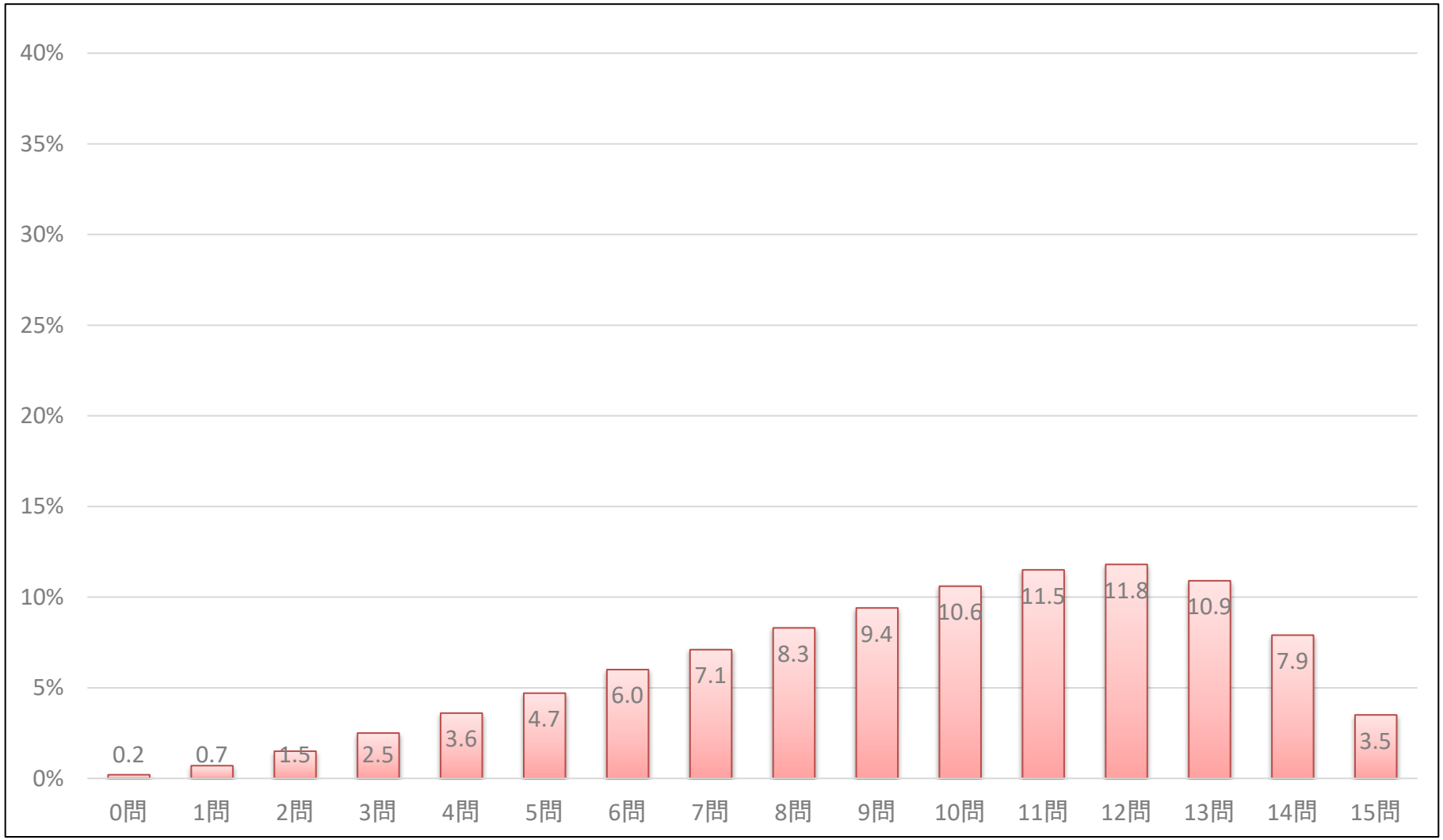
＊ 学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選して出題。

＊ 中学校第２学年までの内容から出題。

【中学校国語】の調査結果概況

生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
864,717	9.6 / 15	64.2	10.0	3.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）



各設問の出題の趣旨と調査結果

※ (1)･･･「言葉の特徴や使い方に関する事項」、(2) ･･･ 「情報の扱い方に関する事項」、
(3) ･･･ 「我が国の言語文化に関する事項」、A･･･「話すこと・聞くこと」、B･･･「書くこと」、 C･･･「読むこと」
算用数字は該当学年、片仮名は該当の指導事項。

問題番号		出題の趣旨	正答率（%）	無解答率（%）	内容※
1	一	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	84.5	0.2	(1) 2 オ
	二	単語の類別について理解しているかどうかをみる	70.3	0.3	(1) 1 エ
	三	単語の活用について理解しているかどうかをみる	85.6	0.2	(1) 2 オ
2	一	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる	68.9	0.3	A 1 ア
	二	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる	70.7	0.3	A 1 エ
	三	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	70.7	0.4	(2) 2 イ
	四	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる	53.1	14.5	A 2 オ

各設問の出題の趣旨と調査結果

※ (1)･･･「言葉の特徴や使い方に関する事項」、(2) ･･･ 「情報の扱い方に関する事項」、
(3) ･･･ 「我が国の言語文化に関する事項」、A･･･「話すこと・聞くこと」、B･･･「書くこと」、C･･･「読むこと」
算用数字は該当学年、片仮名は該当の指導事項。

問題番号		出題の趣旨	正答率(%)	無解答率(%)	内容※
3	一	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	40.4	0.3	(1) 2 ウエ
	二	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる	92.4	4.7	B 2 ウ
	三	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる	65.3	0.5	B 2 イ
	四	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる	45.4	10.5	B 2 オ
4	一	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる	71.9	0.7	C 1 ア
	二	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる	35.5	19.5	(1) 1 ウ
	三	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる	69.0	1.0	C 1 ウ
	四	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる	39.3	18.3	C 1 オ

２．調査結果と学習指導の改善・充実について

・各設問における出題の趣旨と調査結果等

調査に基づく学習指導の改善のポイント

① 求められる学習指導の姿を明確にする

② 解答類型を基に生徒の具体的な解答状況を分析する

③ 指導計画に基づき学習指導を改善する

学習指導の改善のポイント

① 求められる学習指導の姿を明確にする

○ 「解説資料」「報告書」にある各問題の出題の趣旨を確認する。

○ 調査問題に実際に取り組み、必要な学習指導について具体的なイメージをもつ。

・生徒がつまずきそうなところは？
・授業に取り入れるべきことは？

学習指導の改善のポイント

② 解答類型を基に生徒の具体的な解答状況を分析する

○ 問題についての正誤だけではなく、一人一人の解答の状況（どこでつまずいているのか）等に着目する。

○ 解答類型のような生徒の学習状況の分析の仕方を、日常の授業でも活用することで、学習評価の充実につなげることができる。

学習指導の改善のポイント

③ 指導計画に基づき学習指導を改善する

○ ３年間を見通し、必要に応じて各指導事項を関連付けながら、系統的かつ効果的な学習指導を行うことができるよう指導計画を作成する。

○ 各学校の状況を校内で共有し、国語科の学習指導を学校のカリキュラム・マネジメントの中に位置付ける。

国語 1 の構成図

国語 1　日常の言語活動の中にある言葉を取り上げて言葉の特徴やきまりについて考える

〔知識及び技能〕

設問一	《文や文章》〔第２学年〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項　オ
趣旨	助動詞の働きについて理解していること
概要	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する

設問二	《文や文章》〔第１学年〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項　エ
趣旨	単語の類別について理解していること
概要	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する

設問三	《文や文章》〔第２学年〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項　オ
趣旨	単語の活用について理解していること
概要	「ら抜き言葉」であるものを選択する

言葉の特徴やきまりについて考える

日常の言語活動の中にある言葉

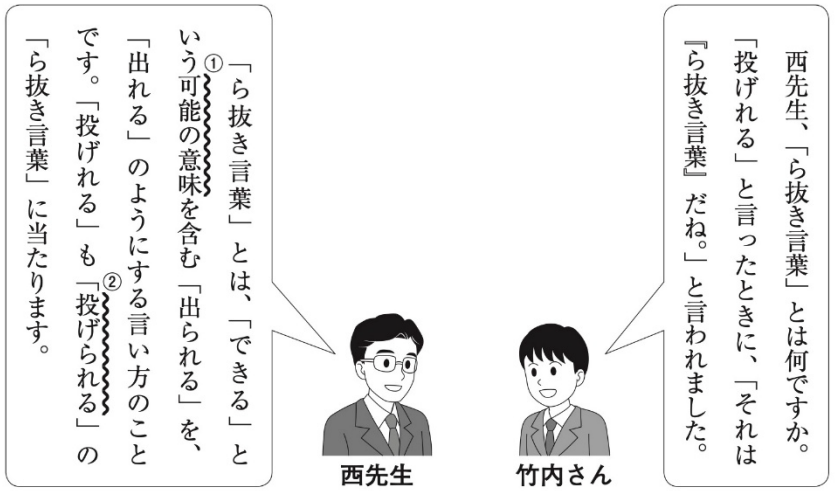
いわゆる「ら抜き言葉」

国語1 日常の言語活動の中にある言葉を取り上げて言葉の特徴やきまりについて考える

設問一	《文や文章》　〔第２学年〕⑴言葉の特徴や使い方に関する事項　オ
趣旨	助動詞の働きについて理解していること

一　竹内さんは、【二人の会話】の～～～線部①「可能の意味」について考えています。次の１から４までのうち、文中の＿＿＿線部が「可能の意味」を含んでいるものを一つ選びなさい。

【二人の会話】



1　運動会当日の天気が案じられる。　（５．２％）

2　突然、友人から声を掛けられる。　（４．２％）

3　満腹になったが、ケーキは食べられる。　（８４．５％）

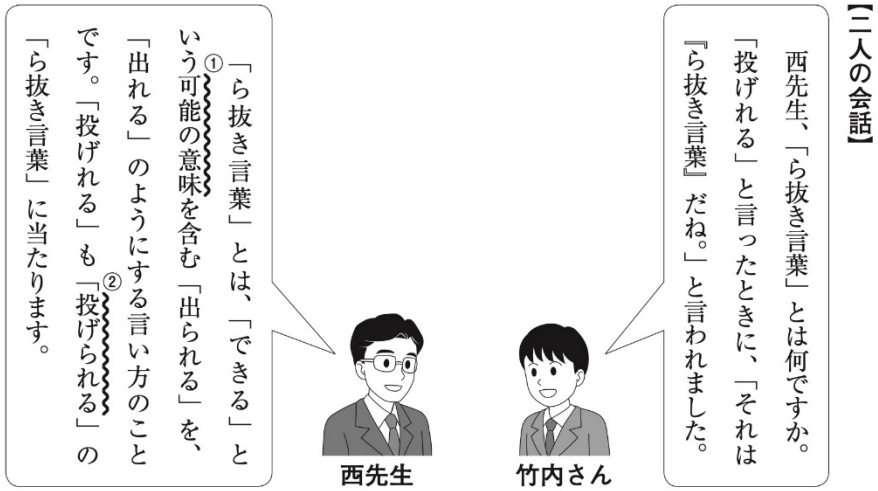
4　来賓の方々が、卒業式の会場に入られる。　（５．８％）

国語1 日常の言語活動の中にある言葉を取り上げて言葉の特徴やきまりについて考える

設問二	《文や文章》　〔第１学年〕⑴言葉の特徴や使い方に関する事項　エ
趣旨	単語の類別について理解していること

二　竹内さんは、【二人の会話】の～～～線部②「投げられる」について考えています。次の１から４までのうち、「投げられる」を説明したものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

【二人の会話】



1　「投げられる」という動詞である。　（３．０％）

2　「投げる」という動詞と「られる」という動詞でできている。　（５．９％）

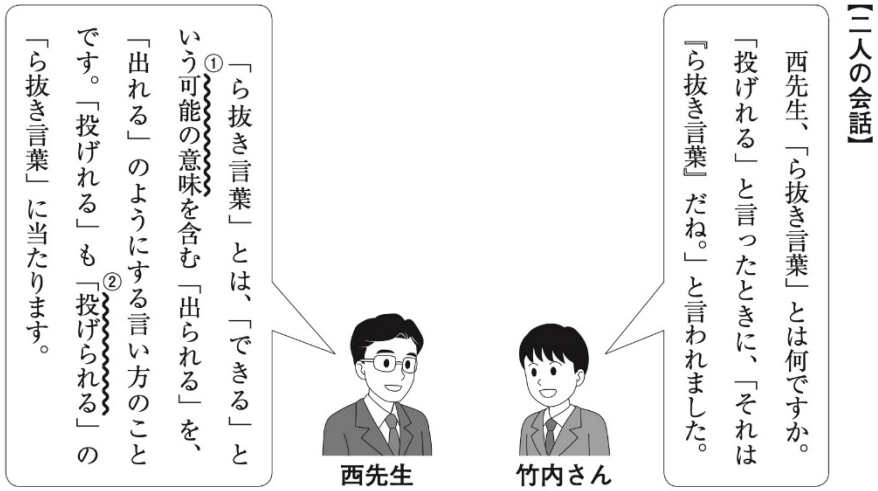
3　「投げる」という動詞と「られる」という助詞でできている。　（２０．４％）

④　「投げる」という動詞と「られる」という助動詞でできている。　（７０．３％）

国語1 日常の言語活動の中にある言葉を取り上げて言葉の特徴やきまりについて考える

設問三	《文や文章》　〔第２学年〕⑴言葉の特徴や使い方に関する事項　オ
趣旨	単語の活用について理解していること

三　竹内さんは、他にどのような「ら抜き言葉」があるのかを考えてみました。次の１から４までのうち、文中の＿＿＿線部が「ら抜き言葉」であるものを一つ選びなさい。



1　強い風で傘が折れる。　（６．２％）

2　朝が早くても起きれる。　（８５．６％）

3　この商品はよく売れる。　（５．１％）

4　赤ちゃんが生まれる。　（２．９％）

国語 2 の構成図

国語 2

学級の課題の解決に向けて少人数で話し合う

学習過程	〔思考力、判断力、表現力等〕		〔知識及び技能〕	
「話し合うこと」 話題の設定 情報の収集 内容の検討	設問一	《話題の設定、情報の収集、内容の検討》 〔第１学年〕Ａ　話すこと・聞くこと　ア	設問三	《情報の整理》 〔第２学年〕⑵情報の扱い方に関する事項　イ
	趣旨	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること	趣旨	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使う
	概要	発言について説明したものとして適切なものを選択する	概要	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する
「聞くこと」 構造と内容の把握 精査・解釈 考えの形成 共有	設問二	《構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有》 〔第１学年〕Ａ　話すこと・聞くこと　エ		
	趣旨	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること		
	概要	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する		
「話し合うこと」 話合いの進め方の検討 考えの形成 共有	設問四	《話合いの進め方の検討、考えの形成、共有》 〔第２学年〕Ａ　話すこと・聞くこと　オ		
	趣旨	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること		
	概要	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く		

関連

国語2　学級の課題の解決に向けて少人数で話し合う

設問一	《話題の設定、情報の収集、内容の検討》　〔第１学年〕Ａ　話すこと・聞くこと　ア
趣旨	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること

一　【話し合いの一部】の＿＿＿線部①「まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

1　これから話し合う内容と手順を明確にしようとしている。　（６８．９％）

2　話し合う話題を広げて様々な意見を集めようとしている。　（１３．９％）

3　話し合いの前に行った情報の収集の仕方を振り返ろうとしている。
（５．５％）

4　これまでの話し合いで出された意見から重要なものを選ぼうとしている。
（１１．４％）

国語2　学級の課題の解決に向けて少人数で話し合う

設問二	《構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有》〔第１学年〕Ａ　話すこと・聞くこと　エ
趣旨	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること

二　【話し合いの一部】の＿＿＿線部②「例えば、『歌声に強弱がつけられていない』や『高い音の部分がうまく歌えない』は、歌の表現の仕方になりますよね。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

1　石川さんの発言の中で間違っている部分を指摘している。　（２．５％）

2　石川さんの考えと自分の考えとの相違点を明らかにしている。　（１０．７％）

3　石川さんの考えに対する自分の理解が合っているかを確かめている。　（７０．７％）

4　石川さんの発言に反対する意見を具体的な例を挙げながら述べている。　（１５．８％）

国語2　学級の課題の解決に向けて少人数で話し合う

設問三	《情報の整理》　〔第２学年〕(2)情報の扱い方に関する事項　イ
趣旨	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと

三　【話し合いの一部】の＿＿＿線部③「今まで話し合ったことを受けて、〈音楽科の先生に相談すること〉と〈自分たちで取り組むこと〉に整理してみました。」とありますが、山下さんが【話し合いを受けて整理した画面】を説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

1　これから取り組むべきことを明確にするために、三人で話し合った課題を重要なものとそうでないものに分類している。（８．０％）

2　三人の考えを学級に分かりやすく伝えられるようにするために、アンケートの結果と話し合った内容を並べている。（１３．７％）

3　これまでの話し合いの経緯が分かるようにするために、話し合いの中で出た意見を時間の流れに沿って並べている。（７．３％）

4　このあと取り組んでいきたいことを具体的に示すために、挙げられた課題を解決の仕方に応じて分類している。（７０．７％）

国語2　学級の課題の解決に向けて少人数で話し合う

設問四	《話合いの進め方の検討、考えの形成、共有》　〔第２学年〕Ａ　話すこと・聞くこと　オ
趣旨	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること

四　【話し合いの一部】で山下さんは、＿＿＿線部④「『美しい歌声を響かせよう』という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか。」と投げかけています。これを受けて、あなたならどのような意見を述べますか。次の条件１と条件２にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

条件１　学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと。
条件２　条件１について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと。

国語2　学級の課題の解決に向けて少人数で話し合う

（正答の条件）
① 学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書いている。
② 大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書いている。
③ 実際に話すように書いている。

〔解答類型１〕①○　②○　③○　　（５３．１％　正答）

〈例〉
・ 石川さんが言うように、練習ごとに一つ一つ呼びかけるのがよいと思います。学級のページに載せればいつでもまとめて確認できますが、一つずつ練習の場で伝えた方が、全員が同じ意識で歌えるからです。

〔解答類型３〕　①○　②×　③○　　（１５．１％）

〈例〉
・ 私は、紙などにまとめて教室に貼るのがよいと思います。みんなの目につくところに貼ることで、意識しやすくなり、課題を解決しやすくなると思うからです。

自分の考えと理由を述べることにとどまり、話合いの展開に応じて、互いの立場や考え方を結び付けたり、話し合った内容を踏まえて述べたりすることができていないと考えられる。

〔解答類型２〕　①○　②○　③×　　（０．１％）
〔解答類型４〕　①×　②○　③○　　（１．２％）
〔解答類型０〕　無解答　　（１４．５％）

国語 3 の構成図

国語 3

経験したことを基に随筆を書く

学習過程

〔思考力、判断力、表現力等〕

〔知識及び技能〕

構成の検討

設問三	《構成の検討》 〔第２学年〕Ｂ　書くこと　イ
趣旨	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること
概要	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する

考えの形成 記述

設問二	《考えの形成、記述》 〔第２学年〕Ｂ　書くこと　ウ
趣旨	表現の効果を考えて描写すること
概要	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く

共有

設問四	《共有》 〔第２学年〕Ｂ　書くこと　オ
趣旨	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと
概要	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く

設問一	《漢字・語彙》 〔第２学年〕⑴言葉の特徴や使い方に関する事項　ウ・エ
趣旨	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと
概要	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する

国語3　経験したことを基に随筆を書く

設問一	《漢字・語彙》　〔第２学年〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項　ウ・エ
趣旨	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと

一　石井さんは、**【石井さんが書いている随筆】**の〈　〉のところに、一文を書き加えようとしています。次の**【石井さんが書き加える一文】**と**【文書作成ソフトに表示された意味と用例】**を読んで、あとの問いに答えなさい。

【石井さんが書き加える一文】

何をして遊ぶか多数決をとる子どもたち、飼い主が投げ上げたボールを落とさずにとる犬、遠くの美しい山並みをとる人。
（ア　イ）

【文書作成ソフトに表示された意味と用例】

□る
必要な物を入れて、集める。
「きのこを□る」
取る
持つ。握る。得る。除く。
「手に取って見る」
「免許を取る」
捕る
つかまえる。
「魚を捕る」
「外野フライを捕る」
撮る
カメラなどで写す。
「写真を撮る」
「記録映画を撮る」

(1)　**【石井さんが書き加える一文】**の「多数決をとる」と**【文書作成ソフトに表示された意味と用例】**の「□る」の線部には同じ漢字が入ります。「多数決をとる」の線部のひらがなを漢字に直し、楷書（かいしょ）でていねいに書きなさい。

(2)　**【文書作成ソフトに表示された意味と用例】**を参考にして、**【石井さんが書き加える一文】**の線部アとイの正しい漢字の組み合わせとして最も適切なものを、次の**1**から**3**までの中から一つ選びなさい。

1　ア　捕る　イ　撮る
2　ア　撮る　イ　取る
3　ア　取る　イ　捕る

（正答の条件）
① (1)について、「採(る)」と書いている。
② (2)について、１を選んでいる。

〔解答類型１〕	①○	②○	（４０．４％　正答）
〔解答類型２〕	①○	②×	（０．９％）
〔解答類型３〕	①×	②○	（４９．５％）
〔解答類型99〕	上記以外の解答		（８．９％）
〔解答類型０〕	無解答		（０．３％）

〔知識及び技能〕の課題と指導改善のポイント

文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。

各学年の語彙の指導事項の内容と関連付け、音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意するなどして、漢字を正しく使うことができるよう指導することが大切。

１人１台端末を活用して文章を作成する際にも、漢字がもつ意味に注意して、適切に選択することができるよう、指導することがこれまで以上に重要。手書きで漢字を書くことを通して、漢字の構成要素である「へん」や「つくり」などに注目し、字形を正しく捉えたり読みを類推したり、大まかな意味を捉えたりすることが効果的。

国語3　経験したことを基に随筆を書く

設問二	《考えの形成、記述》　〔第２学年〕Ｂ　書くこと　ウ
趣旨	表現の効果を考えて描写すること

二　石井さんは、【石井さんが書いている随筆】の＿＿＿線部「私の気持ちもどんどん明るくなって、［　　］ペダルをこいだ。」の［　　］について、どんどん明るくなった私の気持ちがより伝わるように、表現を工夫しようとしています。あなたならどのように書きますか。［　　］に「どんどん」、「明るく（なって）」以外の言葉を入れて、文を完成させなさい。

（正答の条件）
① 「私の気持ちもどんどん明るくなって、［　　］ペダルをこいだ。」の［　　］に、前後がつながるような言葉を入れて書いている。
② 明るくなった気持ちがより伝わるように、「どんどん」、「明るく(なって)」以外の言葉を入れて、以下のように表現を工夫して書いている。
a　比喩的な表現や反復などを使って工夫している。
b　比喩的な表現や反復などを使わず、行為や心情を表す語句などを使って工夫している。

〔解答類型１〕①○　②○a　（２０．１％　正答）
〔解答類型２〕①○　②○b　（７２．３％　正答）
〔解答類型３〕①○　②×　（１．０％）
〔解答類型４〕①×　②○　（１．７％）
〔解答類型０〕無解答　（４．７％）

国語3　経験したことを基に随筆を書く

設問三	《構成の検討》　〔第２学年〕Ｂ　書くこと　イ
趣旨	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること

三　石井さんが、【石井さんが書いている随筆】のような展開にした意図を説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

1　経験から新たな問いが生まれる展開にすることで、読み手が文章の続きを想像して読めるようにした。（８．９％）

2　経験から気付きを得たという時間の流れに沿った展開にすることで、書き手に寄り添って読めるようにした。（６５．３％）

3　書き手が気付いたことを文章の始めと終わりに示す展開にすることで、最も伝えたいことを強調するようにした。（１８．９％）

4　同じ場面を文章の始めと終わりに示す展開にすることで、同じ出来事が繰り返されることに読み手が気付けるようにした。（６．４％）

国語3　経験したことを基に随筆を書く

設問四	《共有》　〔第２学年〕Ｂ　書くこと　オ
趣旨	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと

四　石井さんは、自分が書いた文章について、山田さん、田中さんと交流し、この文章のよい点や改善点と、それを踏まえた今後随筆を書くときに生かしたいことをメモにまとめています。あなたならどのように書きますか。【1段落についての交流場面①】をもとにした【メモ①】の書き方を参考にしながら、【1段落についての交流場面②】をもとにして【メモ②】を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【1段落についての交流場面①】

石井　1段落で、絵を描くことが趣味だということを印象付けるように工夫したのですが、どうでしたか。

山田　最初の「私には趣味がある。」という一文で、趣味は何だろうと知りたくなり、先を読みたくなりました。

田中　私もそう思いました。

【1段落についての交流場面②】

石井　スケッチブックを「相棒」と表現したことはどうですか。

田中　「その時々の私の気持ちを相棒が教えてくれる」とスケッチブックを人のように表現しているのが印象に残りました。

山田　スケッチブックは今までの自分の気持ちが詰まっているものだから、「相棒」よりふさわしい比喩もあるのではないかと思いました。

【メモ①】

〈よい点や改善点〉
冒頭で「私には趣味がある。」と趣味が何かを明かさないことによって、読み手に先を読みたいと思わせることができた。

〈生かしたいこと〉
随筆を書くときは、書き出しの工夫をする。

【メモ②】

〈よい点や改善点〉

〈生かしたいこと〉

（正答の条件）

① 〈よい点や改善点〉の欄に、「相棒」と表現したことについてのよい点や改善点について、【１段落についての交流場面②】の内容を基にして書いている。

② 〈生かしたいこと〉の欄に、〈よい点や改善点〉の欄に書いたことを踏まえて、比喩の用い方などについて、今後随筆を書くときに生かしたいことを書いている。

〔解答類型１〕①○　②○　　（４５．４％　正答）

〈例〉

・〈よい点や改善点〉
　スケッチブックを「相棒」と表現したのはよかった。しかし、他にもふさわしい言葉があったかもしれない。
〈生かしたいこと〉
　読み手の印象に残るように比喩を用いる。その際、選んだ言葉がふさわしいかどうかを考える。

国語3　経験したことを基に随筆を書く

〔解答類型３〕　①×　②○　　（１７．０％）

〈例〉
〈よい点や改善点〉
・スケッチブックを「相棒」という言葉で表現した。
・「私」の心情について語っていたり、背景から想像することがしやすいので、読み手に共感してもらいやすくすることができた。

【１段落についての交流場面②】の内容を基にして〈よい点や改善点〉を書くことができていない。

〔解答類型２〕　①○　②×　　（９．４％）
〔解答類型99〕　上記以外の解答　（１７．８％）
〔解答類型０〕　無解答　　（１０．５％）

「書くこと」の課題と指導改善のポイント

表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことに課題がある。

書き終えた文章について、読み手からの感想や助言を基に、自分の文章を振り返り、次の書く活動にどのように生かすかを考えることが重要。

「共有」する際の視点については、「構成の検討」、「考えの形成、記述」、「推敲」の学習過程を踏まえ、当該学年で重点としている内容を中心に取り上げることが大切。

「共有」（第２学年）の指導事項について

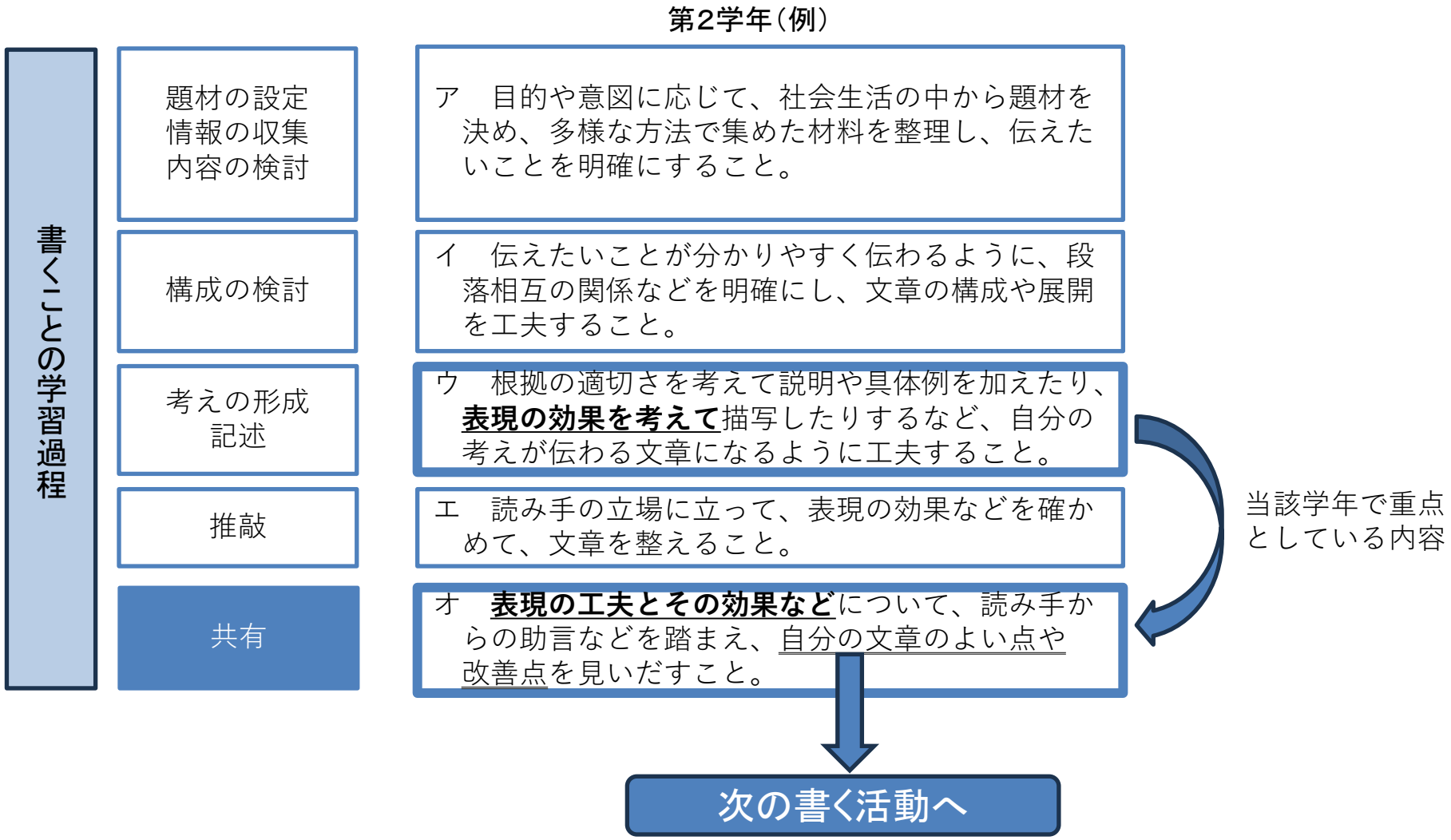
表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。

　具体的には、書き手が目的と意図に応じてどのような表現の工夫をし、それはどのような効果があったかなどについて検討することが考えられる。また、どのように改善するとよいかなど、次の自分の書く活動へ生かす具体的な視点を得ることも重要である。

　表現の工夫としては、説明や具体例、事物の描写の仕方、表現の技法、文末表現や敬語などの語句の用法などに着目することが考えられるが、着目した表現について、どのような理由で効果的なのか、どのように書けばより効果があるのかなどを具体的に考えることが重要である。

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』94～95ページ

「共有」と他の指導事項との関連



「共有」の思考過程の例

読み手からの助言などを整理する

↓

自分の書いた文章を振り返り、
よい点や改善点を見いだす

↓

次の自分の書く活動へ生かす
具体的な視点を得る

「推敲」「共有」の指導事項について

	中学校 第１学年	中学校 第２学年	中学校 第３学年
推敲	エ　読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	エ　読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。	エ　目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。
共有	オ　根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	オ　表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	オ　論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。

読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整えること

読み手からの助言などを踏まえて、自分が書いた文章のよい点や改善点を書き手自身が見いだすこと

各学習過程で育成する資質･能力を意識して、学習指導を行うことが重要です。

国語 4 の構成図

国語 4

説明的な文章を読んで理解したことをノートにまとめる

学習過程	〔思考力、判断力、表現力等〕		〔知識及び技能〕	
構造と内容の把握	設問一	《構造と内容の把握》〔第１学年〕C　読むこと　ア		
	趣旨	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること		
	概要	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する		
精査・解釈	設問三	《精査・解釈》〔第１学年〕C　読むこと　ウ	関連	設問二　《語彙》〔第１学年〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項　ウ
	趣旨	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること		趣旨　語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること
	概要	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する		概要　国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す
考えの形成共有	設問四	《考えの形成、共有》〔第１学年〕C　読むこと　オ		
	趣旨	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること		
	概要	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く		

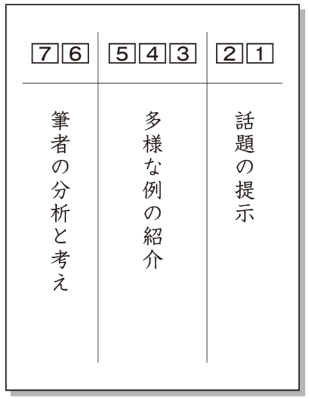
○「読むこと」の学習過程に沿って、各設問を設定
○「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」との関連を示す

国語4　説明的な文章を読んで理解したことをノートにまとめる

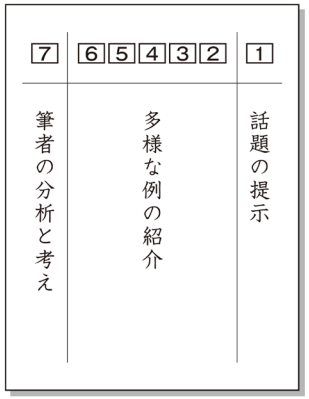
設問一	《構造と内容の把握》　〔第１学年〕C　読むこと　ア
趣旨	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること

一　林さんは、文章全体を三つに分けてノートに整理しています。整理したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

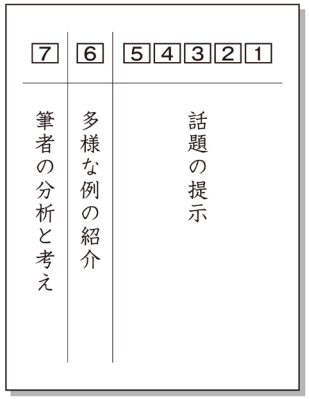
3



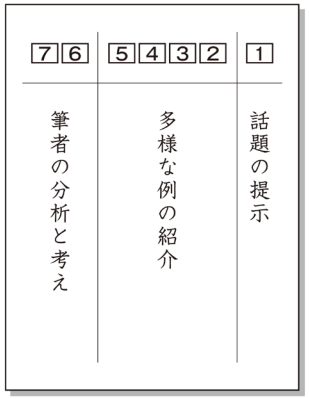
1



4



2



1	（１５．４％）
2	（７１．９％）
3	（８．２％）
4	（３．９％）

国語4　説明的な文章を読んで理解したことをノートにまとめる

設問二	《語彙》　〔第１学年〕(1)言葉の特徴や使い方に関する事項　ウ
趣旨	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること

二　林さんは、――線部「ほうふつとさせる」を正確に理解するために、「ほうふつ」を国語辞典で調べました。次の【国語辞典に載っていた意味】を読むと、6段落に「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現がいくつかあることに気が付きました。【国語辞典に載っていた意味】を参考にして、それらの表現のうちどれか一つを6段落の中から抜き出しなさい。

【国語辞典に載っていた意味】

ほうふつ【彷彿】❶はっきりと脳裏に思い浮かぶこと。よく似ていること。❷おぼろげなさま。はっきりしないさま。

解答類型と反応率

1　次のいずれかのように解答しているもの
「ありありと映し出している」、「心に思い描く」
「包括的に含んだイメージを得る」
（１４．１％）

2　上記１について、本文中の前後の語句を含んで抜き出したり、一部だけを抜き出したりして、解答しているもの
（２１．４％）

3　本文中から、上記１、２以外の表現を抜き出して、解答しているもの
（３９．７％）

99　上記以外の解答　（５．３％）

0　無解答　（１９．５％）

〔知識及び技能〕の課題と指導改善のポイント

語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題がある。

語句の文脈上の意味を捉えることの指導に当たっては、まず、語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈における意味を具体的かつ個別的に捉えることが大切。

語句に着目し、その語句が文や段落においてどのような役割を果たしているかを捉え、その語句と文章中の他の語句との関係を考えることも重要。

国語4　説明的な文章を読んで理解したことをノートにまとめる

設問三	《精査・解釈》〔第１学年〕Ｃ　読むこと　ウ
趣旨	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること

三　林さんは、本文に書かれている会話の表情を表わす擬音語・擬態語の特徴を、次のようにまとめています。次の［　　］に入る言葉として最も適切なものを、あとの１から４までの中から一つ選びなさい。

会話の表情を表わす擬音語・擬態語は、［　　］ことができる。

1　声に出して言った言葉を文字にして正確に伝える　（９．７％）

2　実際に話した内容を整理しながら筋道立てて伝える　（５．７％）

3　口調や顔つきなど話し方の様々な要素をまとめて表す　（６９．０％）

4　声の大きさなど話し方の要素の一つを他の要素と区別して表す　（１４．５％）

国語4　説明的な文章を読んで理解したことをノートにまとめる

設問四	《考えの形成、共有》〔第１学年〕C　読むこと　オ
趣旨	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること

四　林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、**〈具体的な場面〉**を思い浮かべながら、二種類の例文を書いてみました。あなたは、**〈例文１〉**と**〈例文２〉**を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの**条件１**と**条件２**にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈具体的な場面〉

〈例文１〉（擬態語を使っていない例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒は言った。

〈例文２〉（擬態語を使った例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒はきっぱりと言った。

条件１　**〈例文２〉**の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件２　**条件１**で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

（正答の条件）
① 〈例文２〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書いている。
② 「きっぱり」について考えたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書いている。

〔解答類型１〕①○　②○　　（３９．３％　正答）

〈例〉
- 「きっぱり」は、生徒が先生に向かって、自信を持って力強く言い切っている様子を表している。このように、擬態語は話している様子の包括的なイメージを表現することができる。

- 「きっぱり」は生徒が自信を持っている様子が伝わる。擬態語を使うことによって、様子をありありと映しだすことができる。

国語4　説明的な文章を読んで理解したことをノートにまとめる

〔解答類型２〕　①○　②×　　（３５．１％）

〈例〉
・「きっぱり」という擬態語をつかうことによって生徒がたくさん練習をしてきて、発表に自信があるように感じさせる効果がある。

・「きっぱり」は何の迷いもなく言い切る様子を表している。擬態語には自分の気持ちをはっきりと表現する効果がある。

本文の叙述を基に擬音語・擬態語について理解することができていないと考えられる。
本文の内容を踏まえず、擬音語・擬態語についての知識や経験等に基づいて解答したものと考えられる。

〔解答類型３〕　①×　②○　　（２．５％）
〔解答類型99〕　①×　②×　　（４．９％）
〔解答類型０〕　無解答　　（１８．３％）

「読むこと」の課題と指導改善のポイント

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。

具体的な場面を思い浮かべ、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことと結び付けるなどして、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることなどが考えられる。

文章に書かれている大まかな内容について自分の考えを述べることにとどまるのではなく、自分がその文章の内容についてどのように把握したり解釈したりしたかを十分に踏まえ、それを常に確かめながら考えを形成していくことが大切。

３．まとめ

・調査問題や調査結果を踏まえた中学校国語科の授業づくり

今年度の課題等　〔知識及び技能〕

◇…比較的できている点　◆…課題のある点　〔　〕内の記号は、問題番号

言葉の特徴や使い方に関する事項

◇　単語の活用、助動詞の働きについて理解することはできている。　〔１一、三〕

◇◆　自立語と付属語を類別することはできているが、助詞と助動詞を類別することに課題がある。〔１二〕

◆　文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。〔３一〕

◆　語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題がある。〔４二〕

情報の扱い方に関する事項

◇　情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことはできている。　〔２三〕

今年度の課題等〔思考力、判断力、表現力等〕

◇…比較的できている点　◆…課題のある点　〔　〕内の記号は、問題番号

話すこと・聞くこと

◇　必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることはできている。〔２二〕

書くこと

◇　表現の効果を考えて描写することはできている。〔３二〕

◆　表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことに課題がある。〔３四〕

今年度の課題等〔思考力、判断力、表現力等〕

◇…比較的できている点　◆…課題のある点　〔　〕内の記号は、問題番号

読むこと

◇　文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えることはできている。〔４一〕

◆　文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。〔４四〕

指導の充実・改善のポイントの整理

【指導計画や生徒の学習状況に基づく学習指導】
　各学校の指導計画や生徒の学習状況に基づいて、どのような学習指導が必要か検討する。

【言語活動の設定】
　育成を目指す資質・能力を発揮し、生徒が必要感をもつことができる言語活動を設定する。
・身に付ける資質・能力が、社会生活で役に立つと生徒が実感できるように指導する。

【単元の計画】
　各領域の学習過程や「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」との関連を意識して、単元の計画を立てる。

【学習評価の方法】
　育成を目指す資質・能力が身に付いたかどうか判断できるように学習評価の方法を工夫する。

指導の充実・改善のポイントの整理

【学習指導の方法】

主体的・対話的で深い学びを実現した学習指導を行い、学習を通してどのような資質・能力を身に付けるのか、生徒自身が意識できるようにする。

・学習の見通しをもたせる。
・既習の内容を活用して取り組めるよう工夫する。
・ＩＣＴを活用するなどして主体的に学習に取り組むようにする。
・生徒が考える場面と教師が教える場面を適切に組み立て、学びの深まりをつくりだす。
・生徒一人一人の学習の状況を把握し、適切なフィードバックを行う。
・学習を振り返り、自分の学びを自覚する。

本調査問題や調査結果の活用に当たって

調査結果から見えた自校の課題や
その課題を解決するためにはどのような取組が必要なのかを
学校全体で共有して、
組織的に学習指導の改善・充実が図られること
を期待しています